



# 新ひだか町立病院コラム Vol. 11

## 看護補助者のご紹介

多くの病院には、「看護補助者」という職種のスタッフが勤務しています。今回のコラムは看護の現場で働く「看護補助者」について取り上げて行きたいと思います。

当院では静内と三石併せて19人の看護補助者が勤務しており、患者さまが安心して通院、入院していただけるように日々、看護ならびに介護のお手伝いをさせていただいています。そのためにも、当院では定期的に「看護補助者院内研修」を行い「体位変換の仕方」や「食事介助」、「身体清潔に関する援助方法」等を看護師・作業療法士が中心となって学ぶ場を作っています。看護補助者は看護職の資格を有していませんが、各々の職種の役割を発揮してチーム医療の推進に取り組んでいます。

患者さまが安心して安全に通院でき、安心した入院生活を送れるよう、新ひだか町立病院スタッフ一丸となって看護援助させていただきます。

### 院長のつぶやき

院長の小松です。看護補助者は看護チームの一員として、患者様に直接関わる入院生活の援助や病室環境の整備の他、診療に関わる多種多様な準備、片付けならびに整理等を担っており、病院で働く医療専門スタッフが、それぞれの業務に専念できるよう、いわば「縁の下の力持ち」的な存在です。

当院では看護師と同様、入院病棟や外来での勤務があり、病棟勤務になると夜勤もあります。それぞれ、看護スタッフが円滑に業務を遂行できるよう頑張ってくれています。

ではどんな人が補助者においでいるかというところ・・・

まずコミュニケーション能力があり、人に対する優しさと奉仕の精神がある人、できれば体力もあつた方が好みます。

あと医療の世界は治療やケアの仕方が日進月歩です。

そういう意味では探求心と向上心があるのもいいですね。

ちょっとやってみようかなと思つた方は気軽に相談くださいね。

### 看護補助者院内研修



看護師長にインタビューしてみました  
看護補助者ってどんな存在ですか？

患者様へのきめ細かい心配りや優しい声掛けには安心があります。私たち看護職員はそんな彼女たちの存在に癒され、様々な場面で救われています。 三石外来師長より



患者様が安全かつ安心して診療を受けていただけるよう、なくてはならない存在です。いつも明るく笑顔で活躍しています。 静内外来師長より



三石国保病院は病棟の約9割が全介助の患者様ですが、看護補助者ならではの目線や生活援助に対するアイデアを考えてくれるなど、医療チームの一員として病院を支えてくれています。 三石病棟師長より



私たちが目指す「安心・安全な看護」を提供させていただくためには、看護補助者の“力”が必要であり、看護チームとして、なくては成り立たない存在です。 静内病棟師長より



作成:新ひだか町立病院

❁町立静内病院 0146-42-0181(代表)

新ひだか町静内緑町4丁目5番1号

❁三石国保病院 0146-33-2231(代表)

新ひだか町三石本町214番地

